

プロジェクトM：まちの魅力を見つけ出せ！

レポート03：遺産めぐりコースをつくれ、の続き…

03

石狩の自然遺産・文化遺産を再発見し、それらを活用する博物館のあり方を考える「プロジェクトM」の第3回。

“推しM(博物館)”紹介の後、12/26に実施した「エコミュージアム談話会」、12/27の「厳冬の厚田・浜益バスツアー」の復習と参加者による感想紹介、そして前回の続き、遺産めぐりコースのプランの仕上げをやりました。

◎第2回のミッション:

“遺産めぐりコース”マップをつくれ！

- ①前回考えたテーマをチェックし、コースを完成させる
- ②プレゼンテーション！コースをみんなに説明する

◎わたしの“推しM”紹介！

～薩摩焼の郷、美山～

★今回の成果は、裏面に！

◎12月末、番外編を2回やりました！

12/26(木)エコミュージアム談話会

東京工業大学の津々見崇さんに来ていただき、石狩のエコミュージアムの可能性について、想いを話し合いました。

12/27(金)厳冬の厚田・浜益バスツアー

各地に散らばる自然遺産・文化遺産を実際に見に行こう！ということで、厳冬の厚田・浜益バスツアーを開催しました。東工大の津々見さんや藤女子大学の学生さんも加わり、スノーシューを履いての雪原散策、厚田・浜益の資料館や厚田油田跡、ハママシケ陣屋跡などを見学しました。浜益在住のメンバーが、地元の文化遺産を熱く語ってくれました。



「プロジェクトM:まちの魅力を見つけ出せ！」って？

石狩の自然遺産・文化遺産を、

- ・学ぶ
- ・発見する
- ・大勢に知ってもらい、未来に残していく方法を、みんなで考える

ための、集まりです。

3月まで毎月1回、全5回を予定しています。

自然遺産・文化遺産ってなに？

石狩市の自然や文化、歴史を知り、未来に残すための有形・無形のもので、資料や標本など博物館に収蔵するものから、建築・遺跡・植生・地形など野外にあるもの、舞踊や食文化などの民俗・文化まで、さまざまです。

プロジェクトMのミッション(任務)は？

- ・石狩の自然遺産・文化遺産マップをつくれ！
- ・遺産をつなぐ博物館をつくれ！

この2つが最終回までの我々の任務だ！

◎わたしの“押しM”紹介!

～薩摩焼の郷、美山～

今回の“押しM”は、安田秀司さんによるプレゼン。紹介するのは、薩摩焼の郷、美山(鹿児島県日置市)です。

薩摩焼は、16世紀末に朝鮮から日本に連れてこられた陶工たちが始めました。今では国の伝統工芸品に指定されています。美山の街は長さ1kmくらいの狭い地域ですが、11の窯元があります。ただし直系の薩摩焼といえる窯元は3つだけだそうです。

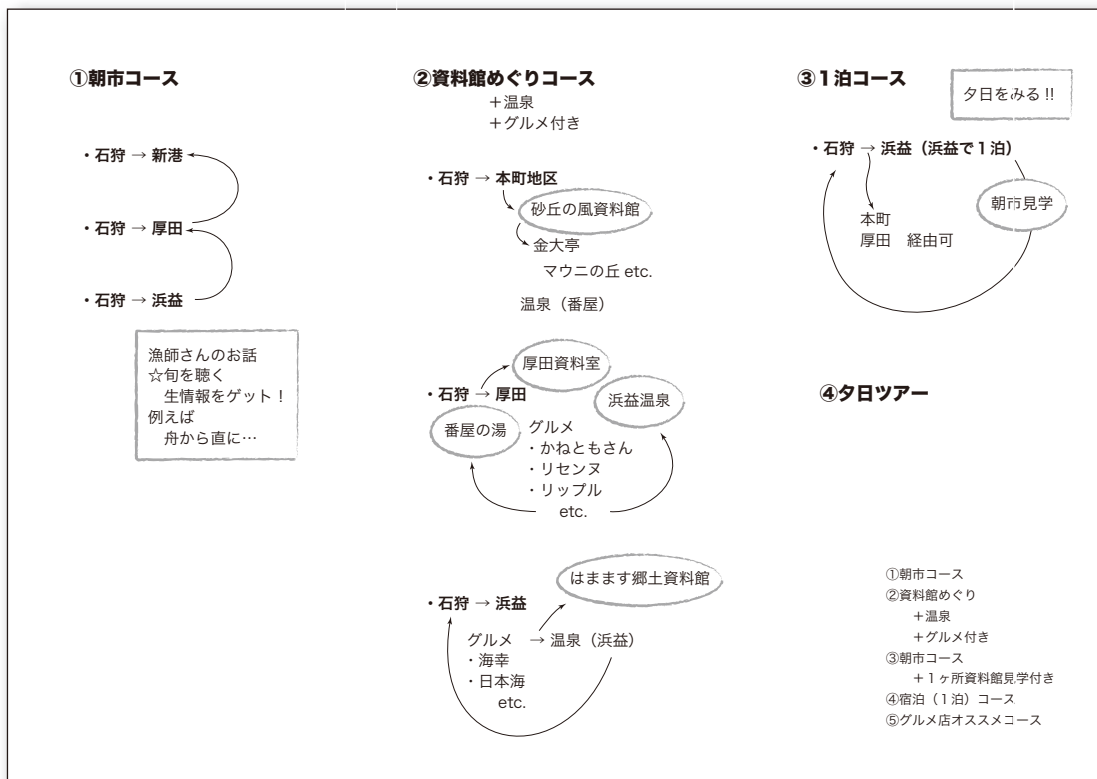
400年前のルーツを感じさせるのが、街外れにある玉山神社。ちょっと見ただけでは気づきませんが朝鮮式の神社で、連れてこられた陶工たちが故郷の神様を祀ったと言われています。

美山には「博物館」の名がついたものはありませんが、いろいろな窯元・工房をまわってみると、土のサンプルが展示してあったり、朝鮮式の窯を見たりできます。また、陶芸体験教室をやっていたり、カフェでもないのに茶や菓子を出してくれてオーナーからいろいろな話を聞かせてもらえたりする所も。美山の人々は意識していないようですが、これはもう立派な「エコミュージアム」と言えます。

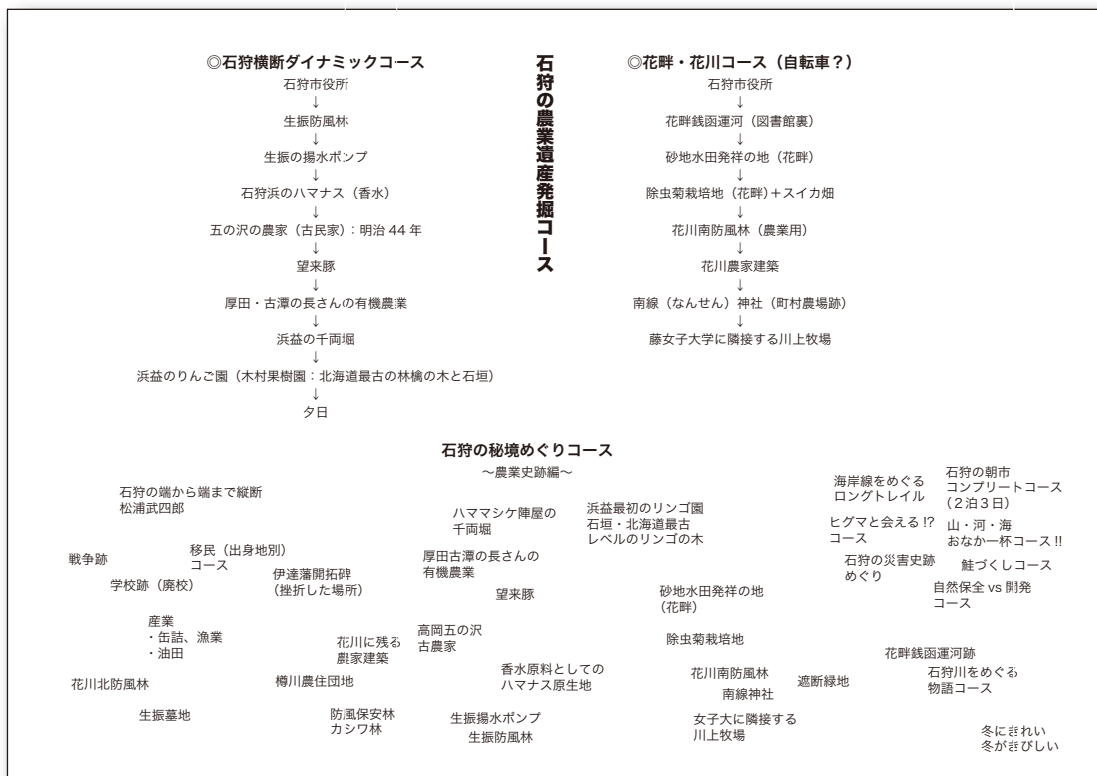
◎“遺産めぐりコースマップ”を作れ!

前回、時間切れとなってしまった“遺産めぐりコース”を考えよ!の続きです。「マップ」まではできませんでしたが、モデルコースを完成し、両チームがお互いにプレゼン合戦しました。

■クマさんチーム フラツと食べ歩きコース



■サケさんチーム 石狩の農業遺産発掘コース



いしかり砂丘の風資料館

(石狩市教育委員会生涯学習部文化財課)
 TEL/FAX: 0133-62-3711
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp>

